

令和7年3月31日

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

会長 赤間 高雄

公認スポーツファーマシスト認定制度

日頃よりアンチ・ドーピング活動にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

当機構は、2009年に当時の国内スポーツ界における課題であった、アスリートの意図しないアンチ・ドーピング規則違反の防止を目的に、最新のアンチ・ドーピングに関する知識を有する薬剤師を認定する資格である公認スポーツファーマシスト認定制度を設立しました。おかげさまで13,000名を超える認定者の皆様にご協力いただく制度となり、アンチ・ドーピング教育に大きく貢献していると考えています。

東京2020大会を終えて、これまでのアンチ・ドーピングに限定したカリキュラムであった本制度を、広くスポーツの現場に役立つ資格へと発展するべく、新たなカリキュラム検討のため、2024年度より当機構は、一般社団法人日本スポーツフェアネス推進機構(J-Fairness)と本制度を共同運営し、新カリキュラムの検討を行ってまいりました。

この度、新たにスポーツ薬理学、スポーツ医学、スポーツ科学領域が追加された新たなカリキュラムが整ったことをうけて、2025年4月1日付で公認スポーツファーマシスト認定制度運営主体をJ-Fairnessへ移管し、魅力ある新制度で更なる発展を目指していくこととなりました。認定者の皆様には、従前のカリキュラムに加え新たなカリキュラムの拡充により、ご満足いただけるものと信じております。

当機構は、引き続き、本制度の資格認定とアンチ・ドーピング領域のカリキュラム策定に協力してまいります。

認定者をはじめ、薬剤師の皆様には引き続き本制度及びスポーツにおけるアンチ・ドーピング活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。